

桜町連区だより

第6号

桜町連区防災研修会を開催し、 地域防災のあり方を確認しました。

去る七月二十五日(日)午前10時から桜町地区市民館で「防災研修会」を開催しました。区長をはじめとする各町内会役員、長寿会、民生委員、更生保護女性会、消防団、体育委員、小学校、保育園など約60名が参加しました。

講師は豊川市役所防災対策課長土居秀三氏からの「豊川市の防災対策について」の話に続き、豊橋市下地校区自主防災会長の杉浦正一氏による「地域防災の現状について」のご講演をいただき、「防災で大切なことは、地域みんなが継続して取り組むことが大事です」と強調されました。

また、避難所として活用するエアベッドや衝立等の設営訓練をはじめ、桜町小学校6年生児童による防災ポスターの展示も行いました。



今後、桜町連区では、防災倉庫の設置をはじめ、備蓄品等の拡充に努めてまいります。

イオンモール豊川(仮称)の建設工事開始に伴う現地説明会及びイオン専門部会が開催されました

去る七月十六日(金)午前10時30分から、イオンモール豊川(仮称)建設工事開始に伴う現地説明会が、近隣の桜町、代田、八南の各連区・校区役員及び地元選出の市議員が参加して開催されました。イオンモール(株)開発本部 東海・長野開発部担当部長清水浩人氏及び担当の葛友成氏の説明に加え、工事担当である清水建設(株)名古屋支店豊橋工務事務所の山下栄次氏、林秀樹氏から工事概要の説明を受けました。なお、桜町連区は同日夜6時30分からイオンモール検討委員会(専門部会)を開催して、工事日程等の確認をしました。さらに、詳細な説明を受けるため、八月二十日(金)にも



専門部会を開催して、現地の雨水対策や工事車両等の搬入に伴う交通対策など地元住民に影響が出ないことを再度要望しました。今後も課題の解決についてイオンと交渉を続けていきます。なお、工事開始に伴う施工計画等は八月当初の回覧で周知されています。



二級河川白川に水位確認カメラの設置を要望しました

去る八月二十一日(土)豊川市長と桜町連区区長会との会合において、河川水位確認カメラの設置を要望しました。

これは、先日の大雨による蔵子、小田渚地区の道路冠水被害が発生したことを受けて、現在未設置になっている白川の水位の現状を把握するため、念仏橋付近にカメラ設置の必要性を訴えたところ、前向きに検討していただける旨の回答をいただきました。